


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します

平成28年 8月18日

山北議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第 5 号	質問議員	8 番	瀬戸恵津子 
件 名	より良い子育て支援により、さらなる定住対策を			
要 旨				
<p>平成26年度にスタートした「山北町第5次総合計画」や「山北町第3次土地利用計画」のもと、現在「若者定住・子育て支援」をキーワードに様々な子育て支援が実施されています。「第3次土地利用計画」のなかでも「自然と地域性を生かし、住み、遊び、働ける活力のあるまちづくり」を土地利用のコンセプトとして策定したと示されており、総合計画の町の将来の姿であります「みんなでつくる 魅力あふれる元気なまち やまきた」を理念に、さらなる定住対策と産業振興を展開すると示されています。</p> <p>既に評判の高い山北町子育て支援センターであるが、総合的な次なる子育て支援策が、期待されるところです。人口を増加させることは、大変難しいという現実がある中、人口の減少幅を、いかに抑えることができるかという点が、自治体間の知恵比べでもあり、そのことが、若者定住にとっての重要なポイントの1つとなっていくと思います。</p> <p>そこで質問いたします。</p>				
<p>① 子どもの遊び場が不足しているので、生涯学習センターの多目的ホールを室内遊技場として、開放し、運動具やボルダリングの設置等できるものを選択し、遊び場として利用してもらおう。親子の利用が前提で、おおむね小学校1年生ぐらいまでを、対象にする。</p> <p>② 町内に公園が整備されてはいるが、若いお母さん、お父さんたちの、ニーズに合っているか。</p> <p>町外からも来町してもらえる、楽しい水遊び場や、木陰を設置するべきだ。</p> <p>③ 29年度開設予定の県立つぶらの公園の進捗状況と予定通りの開園ということ、県より説明を受けているか。</p> <p>④ 山北体育館の今後については、熊本地震を受けて何か対応は、されたか。</p> <p>⑤ 人口減少を子どもの遊び場を整備することにより、市に移住者を呼び込みたいと事業を、実施された例もある。当町に置き換えてみると財源の問題もあるが、民間の資金の活用など選択肢はあろうかと思うが、どのように考えるか。</p>				